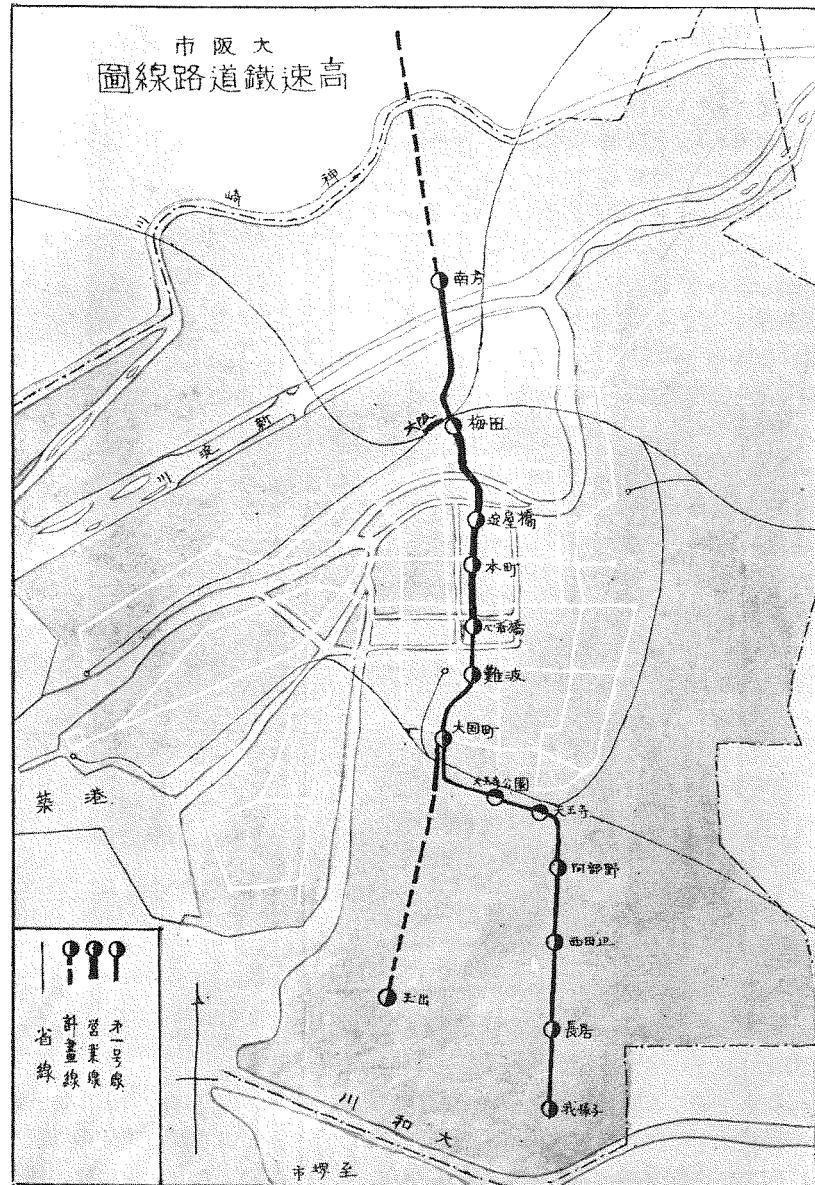


大阪市営地下鐵工事の近況

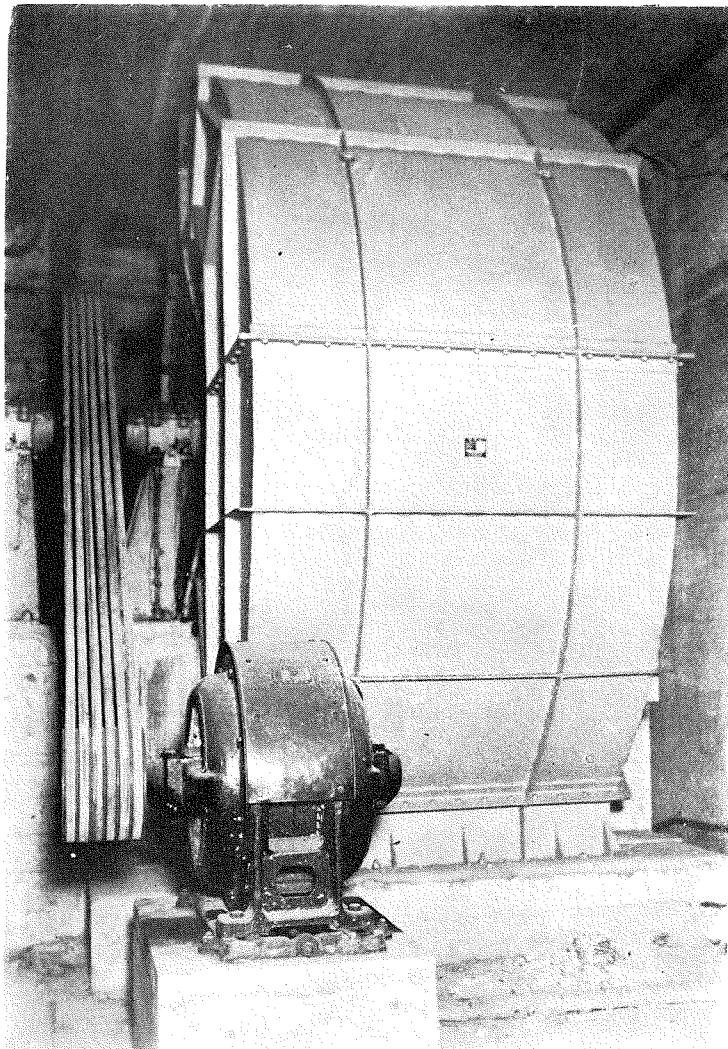
大阪市電氣局臨時高速鐵道部次長 橋本敬之



大阪市高速鐵道は市域を南北に縦貫する延長16秆の線路を第一期線とし建設費61,000,000圓を以て、昭和五年以來工を重ねてゐるが其内梅田仮驛、心斎橋驛北口間3秆は一昨年即ち昭和八年五月に開通し、爾來毎日15,000人の割合を以て乗客を運んでゐる。

目下建設中の区域は北より西へ數へ請負區間8ヶ所、延長合計2秆35米に及んでゐる。

1、梅田本驛中央部20米 此部分は大阪驛構内に在りて高架線の



(2) 本町送風機
室に於ける送風機。

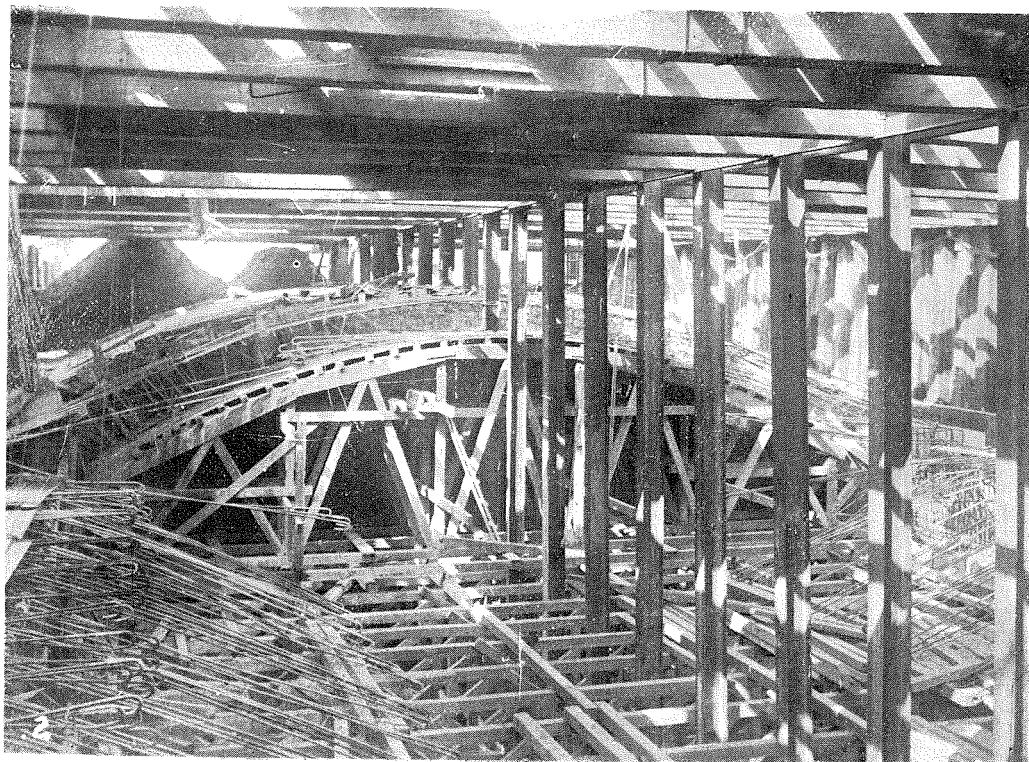
荷重を受くる關係上鐵道省大阪改良事務所に施工を委託して居るのであるが、愈々 2 個の壓搾空氣潜函を用ふることとなり、目下清水組の請負で着々準備を進めてゐる。

2、梅田本驛南端部分 40 米 同じく清水組の請負によつて施工中である。この完成によりて高速鐵道は阪急電車と地下連絡をなし又西側に設くる假出入口は本年三月開設の省線大阪驛假本家の出入口と相對し、省線の乗換に便利となる。

3、梅田本驛と假驛との中間部分 147 米 此

區間は大倉土木株式會社の請負施工區間であるが、家屋の立退交渉が行惱みのかたちとなり、土地收用法の適用によりて漸く 2 年遅れて着手することを得た。現場は阪急前の雜沓地區に當り、加ふるに土質が非常に軟弱なため工事頗る困難を極めてゐる。

4、心齋橋驛殘部工事 294 米 驛の北端河底部分支けは一昨年開業したのであるが殘部は家屋移轉、地下埋設物移轉等の爲起工が遅れ、今回漸く驛全部と、中二階より大丸百貨店に至る聯絡通路並に心齋橋筋出入口



(3) 心齋橋驛アーチ
工事、アーチ徑間15米⁵。

に通ずる地下道完成し、舊臘（昭和九年十二月）20日營業を開始した。

5、心齋橋驛南より道頓堀川南岸迄438米 前區間と共に飛島組の請負であるが、先般の風水害により工事進行に多少の影響を受けた。然し道頓堀川河底隧道工事も北半部は終了し、目下南半部に着手して居るから来る四五月の頃には全部竣工する豫定である。

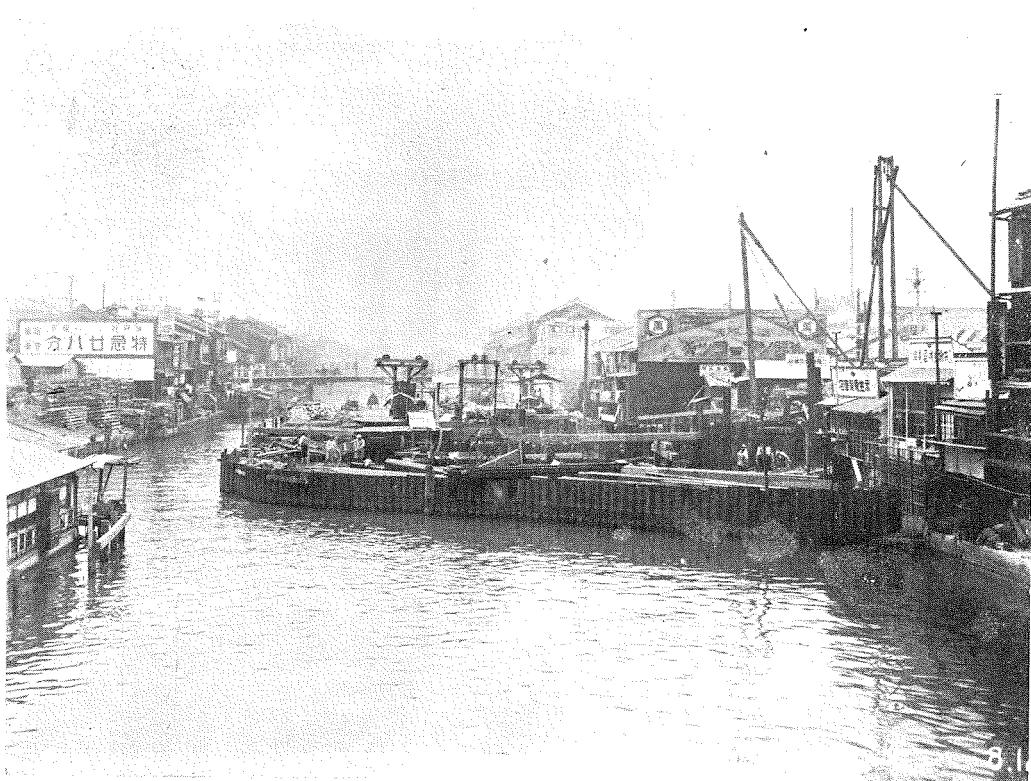
6、難波驛及其前後工事 382米 駐は延長180米、總2階式の構造で2階の大部分は官廳の許可を得次第賣店とする豫定である。南海難波驛とは地下に於て聯絡し尙他に5個

所の路面出入口を持つことになる。

7、難波驛より元町三丁目角まで 280米 此部分は難波驛まで開業の期間中車庫に代用の目的を以て工事中である。請負人は前區間と共に大林組である。

8、大國町驛南より關西本線南方迄 379米 大國町驛より我孫子行の一號線と住吉方面行の三號線とが並行する複々線區間であるが、途中一號線の1線が三號線の2線を超越す爲、此較的複雜なる設計になつて居る幸ひ間組の注意深き施工で圓滑に進捗している。

9、省練關西本線直下部分 49米 關西線架道



(4) 道頓堀川河底隧道工事
河幅約40米の半分宛縫切施工し
中央にて接續す。

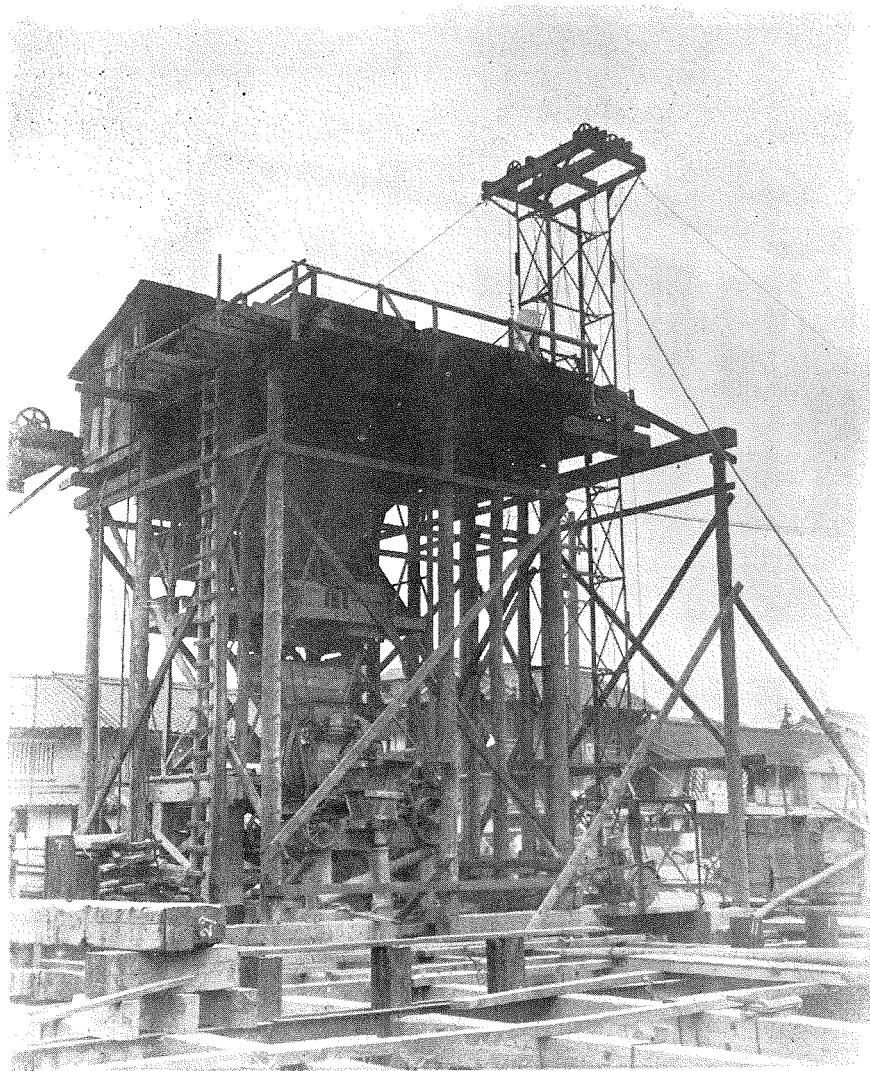
橋擴築工事は大阪鐵道局に委托し工事中であるが、直下の地下鐵は之と不可分の關係にある爲、他に先んじて着工し、間組の手によつて^{8,9}歩通り竣工の現状である。

以上⁹区間のうち、(1)乃至(7)の7区間は請負工事が本年初秋の頃に完了する豫定であるから、年末迄には大阪の二大玄關たる梅田難波の兩驛を結ぶ4秆2分の地下鐵は華々しく營業を開始し得る見込である。

更に本年中に着手する豫定の區域は、(1)元町三丁目角大國町驛南間930米、(2)關西線天王寺驛南間2秆140米、(3)天王寺驛南阿部野驛南間高架線1秆500米、合計4秆570米である

が、(1)のうち400米は地形上地下鐵の中心が電車線の一方に片寄れるため、交通上、長大なる鐵矢板の打込み、拔取りと連續的の掘鑿は到底困難なるため、全部壓搾空氣潜函法、(第6圖参照)によることゝし、13基の潜函を順次沈下して相互を接続する工法により、六月頃から着手の豫定である。

かくて、第一號線は来る昭和14年度末を以て全線開通の豫定である。而して新に第三號線即ち大國町驛より分岐して玉出に至る延長4秆の線路を明年起工し、一號線と同時に全通せしむる計畫の下に事業案を作成し、目下市會に提出の準備中である。
(以上)



(5) 難
波驛工事ウ
オーセクリ
ーターによ
るコンクリ
ート打込作
業。

(6) 潜函施工法計畫取圖(側面)

